

## 【小学校の部】優秀賞

### 大好きな仲間

豊後高田市立戴星学園 5年  
河野 有悟



ぼくは、3年生の時からラグビーをしています。市で1チームなので、いろんな学校から仲間が集まって共にラグビーを楽しんでいます。

ぼくが始めた3年生では、低学年の部で、「あそこをせめればトライをとれるかな」とか思いえがいたプレイができていました。トライが取れるのは楽しかったし、正直このまま高学年の部になっても勝っていけると思っていました。低学年では、みんなで協力することが少なかったので、こ人プレイで点数をとっていました。

でも高学年になると、かん単ではありませんでした。トライをとるのがむずかしくて、くやしいので、まず、お父さんに聞きました。お父さんは高校でラグビーをしていたからです。お父さんからは、「仲間を活かしてみよう」「チームプレイの良さを考えてみよう」と言われました。

「チームプレイの良さってなんだらう。」とすごく考えました。仲間がいるからできること、それは、コミュニケーションなのかなと考えました。勝つための作戦を話し合ったり、仲間のいい所を見つけて言葉をかけ合ったり、一人ではできない「会話」を大切にしていこうと思い始めました。

もともと仲のいいチームでしたが、みんなで作戦を考えたりする中で、みんなの気持ちが少しずつ1つになっていくのを感じるようになりました。会話を大切にしていくと、今までよりも、よりみんなの良さを感じやすくなりました。

そしてこの夏、チームの仲がさらに深まった出来事がありました。5年のメンバーだけでいった合宿、ふだん練習の時にしか会わない仲間と一しょにご飯を食べたり、トランプをしたり、電球がチカチカただけなのに「うれしいが出た」とさわいんだり、楽しい時を過ごす中で前よりももっとチームのきずなが深まったように感じます。

その日をきっかけに、チームプレイがばつぐんに良くなりました。コーチやかんとくから「どうしたんすごく上手になっちょるやん」とたくさんほめられました。自信もついたり、仲間とトライを取る楽しさも今まで以上に感じました。高学年で勝つことはとてもむずかしいです。でもチームワークの良さはどのチームにも負けていません。ぼくたちは、仲間のプレイにダメ出しをしたり相手をせめたりせずに良いところを見つけ声をかけます。ぼくがプレイで苦手なディフェンスでは、仲間がフォローしてくれ、ぼくが走ることがとくいなのでトライを決められるように一生けん命走り続けます。そしてみんなで「ナイスプレー」と声をかけ合います。

そしてこのお器で、このチームでゆうしょうを目指します。今しか過ごすことができない時間を大切に、忘れることのない思い出を、かけがえのない仲間とたくさん作っていきます。

みんなでいっぱいトライを取るぞ。